

農が守る食、食が支える100年の健康、未来につなぐ舟形の文化

町内の食卓から
～栄養満点 朝ごはん～



うるいの浅漬け



わらびのおひたし



うどんの煮物



旬のカド焼き(にしん)



自家産ねぎ入り卵焼き



炊きたてのつや姫ごはん



とれたてのたけのこを使った孟宗汁

～第3次舟形町食育・地産地消推進計画を策定～

「食」は、単に空腹を満たし、栄養をとるためのものではありません。命を育み、心を育み、人と人、人と地域を繋ぐ大切な営みであり、健康の源です。

町では、「第7次舟形町総合発展計画」の中で「いつまでも元気で笑顔が溢れるまち」「地域の魅力・活力を生み出すまち」を目標のひとつに掲げ、まちづくりを進めています。子どもから高齢者まで、すべての世代が健やかに暮らせる社会の実現を目指し、関係機関が連携して食育の推進と地産地消の拡大に取組み、地域全体の健康増進と持続可能な食の循環を築くため、「第3次舟形町食育・地産地消推進計画」を策定しました。

▼問い合わせ▼
舟形町食育・地産地消推進委員会
事務局（舟形町農業振興課
新規就農・女性活躍支援室内）
☎0947-320947

※詳しくはこちら
0411-2450



縄文の女神と若鮎の里

[広報ふながた] Public Relations Funagata

MAY 2026
VOL.807

5

contents

- P3 農が守る食、食が支える100年の健康、未来につなぐ舟形の文化～第3次舟形町食育・地産地消推進計画を策定～
- P8 令和7年度消防関係功労表彰
- P10 ふなトビ
- P12 まちかど掲示板
- P13 町職員のうごき
- P14 新刊書の紹介、舟形文芸ひろば
- P15 農と食と健康と、舟形まんぶく物語、カメラアングル
- P16 山形ふるさとCM大賞アイデア募集



表紙の紹介

5月1日から西ノ前遺跡公園「女神の郷」で、縄文の女神レッドライトアッププロジェクトが行われています。このプロジェクトは、5月の赤十字運動月間と世界赤十字デーにあわせて、赤十字活動への理解を深めるきっかけとして、ランドマークなどをライトアップする取組みです。町内でのライトアップは今回が初めてとなり、5月31日まで行われる予定です。

大切なこと



今、世界は、力による現状変更や強権的な指導者の台頭により、平和の均衡が崩れつつあります。世界中が戦争の危機にさらされる今、101歳で亡くなるまで反戦を訴え続けたジャーナリストの故むのたけじ氏の言葉、今の日本には「戦争のにおいがふんぷんする」を思い出します。

高市政権下で憲法改正が叫ばれ、4月には武器輸出の全面解禁という戦後政策の大転換が断行されました。強い経済の旗の下、軍事産業を「防衛産業」と言い換え、殺傷能力のある兵器を海外へ輸出する道を選んでしまいました。

かつて自民党の故宮澤喜一氏が「兵器の輸出で金を稼ぐほど落ちぶれてはいない」と断じた日本の矜持は、引き継がれなかったのでしょうか。同

じく父が戦死した古賀誠氏は、憲法9条を「世界遺産」と呼び、戦後80年近く他国の人を1人も殺さず、殺されもしなかったという、人類が到達したひとつの理想の形であると。強権主義が世界を覆いつくそうとする今こそ、日本だけは「戦争をしない」という不戦の誓いを守り抜かなければならない。憲法9条は、日本を守るための「盾」であると同時に、世界に平和を広めるための「光」でもあります。武器を売って強い経済を目指すのではなく、憲法9条の精神を世界に広め、全世界の国が不戦の条文を制定する日を夢見ること。それこそが、今、日本が世界に誇るべき真の姿であり、進む道ではないのでしょうか。

森 富広

